

試験研究情報のデータベース化と情報提供の高度化

(水産試験場情報提供事業・地域レベル漁海況情報提供事業)

若林英人・為石起司

1. 研究目的

水産試験場に保存されている試験調査結果ならびに統計資料を逐次電子化する。さらに、インターネットを利用した情報提供システムの開発を行い、水産関係者・一般県民への情報提供を迅速かつ高度化する。

2. 研究情報の電子化と情報提供

平成14年度事業報告書をPDFファイルに変換し、Microsoft Excel97形式のファイルに変換した各種調査資料とともにCD-ROMに保存し、事業報告書とともに関係機関235箇所に送付した。PDF化したファイルは、トビウオ通信(平成15年4月～平成16年3月)とともに水産試験場のホームページ(<http://www2.pref.shimane.jp/suisi/>)の「研究トピックス」に掲載した。

また、ホームページ上で島根県の海と魚の情報を紹介している、「とれとれ情報(旬の魚、月別漁模様)」、「海のお天気」について定期的にデータの更新、追加を行った。

「旬の魚」では、現在、島根県沿岸で釣、刺網、定置網により漁獲されている魚種について、漁獲量の多い順に上位10魚種を地区別(出雲東部・西部、石見東部・西部、隠岐)に写真入りで紹介した。内容は毎月上・中・下旬に更新を行った。「月別漁模様」では、主要漁業種(中型まき網、沖合底びき網、小型底びき網1種、定置網、採貝藻)の月別の漁獲量と水揚げ金額を出雲、石見、隠岐ごとにグラフで紹介した。グラフには前年と平年の漁獲状況を併せて表示した。また、それぞれの漁業種の主要魚種について、漁獲量と水揚げ金額の多い上位10魚種をグラフと数値で紹介した。

「海のお天気」については、試験船による海洋観測結果と、山口県および鳥取県の観測データをもとに作成した島根県沖の水温分布図を登録した。水温分布図は水深0m、50m、100mの3層について作成、登録した。このほか、浜田港における毎日の水温(午前10時計測分)を、過去1週間の水温と併せてグラフで表示した。